

よろこそ野田市へ 観光ガイドブックをリニューアル ～サイズを大きくして、見やすさをアップ～

野田市には、利根川・江戸川の水上交通の発展により栄えた関宿藩の城下町として、また江戸の食文化を支えた醤油醸造業を中心に発展してきた歴史があり、現在でも、市内には当時の歴史や伝統を伝える名所や旧跡が数多く残されている。

市では、昨年作成した英語併記版の冊子型観光ガイドブックを、今年はA4判にサイズを大きくして、見やすくしたものを作成した。新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため配布を見合わせていたが、7月1日から市内観光施設で配布を始めている。

観光ガイドブックでは、『野田のいいね!』として、「城下町 関宿の歴史」、「しょうゆが香る食文化」、「たくさんのプレイスポット」、「コウノトリのいる自然」の4つのテーマに沿った見どころを紹介している。

●野田市の観光の現状

年間260万人の観光客（まつり等を除く）が訪れており、そのうち年間宿泊者数は5万人となっている。野田市の観光客は、日帰り観光が目的となっていると推察でき、日帰り観光客の滞在時間を伸ばし、消費を促したいと考えている。

（平成30年度 観光客数）

工場見学	163,957人
市内ゴルフ場	414,061人
遊園地等	973,627人
千葉県立関宿城博物館	94,376人
鈴木貫太郎記念館	11,246人
こうのとりの里	6,278人
温泉等	906,071人
その他施設	125,089人
合計	2,694,705人

●作成部数

英語併記版冊子型 A4判 32頁 15,000部作成

●昨年作成したガイドマップからの主な変更点

B5判からA4判へサイズ拡大、飲食店情報の充実、見出しによる検索性の向上

問合せ＝商工観光課・内線 3132

野 田 市